

電力研究会（名古屋）、静岡県政記者会、掛川記者クラブで同時資料配付しております。

2023年3月2日  
合同会社御前崎港バイオマスエナジー

## 御前崎港バイオマス発電所における請負作業員の被災について（第3報）

2023年2月6日付及び7日付の当社プレスリリース「御前崎港バイオマス発電所における請負作業員の被災について」にてお知らせ致しました通り、建設中の当発電所において、作業員1名が死亡、10名が被災する事故が発生しました。このような事故が発生したことは誠に遺憾であり、ご遺族に心からお悔やみを申し上げるとともに、皆さまに多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

本事故の発生を受けた再発防止策の策定状況と、今後の工事スケジュールについて、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 事故概要

- ・2月6日（月）16:05頃、溶接作業を実施しているバグフィルタ\*内で、溶接作業中に倒れている作業員2名を発見。
- ・同日16:30頃、発見者より消防に連絡すると共に、作業員9名が救助活動を実施。
- ・救助活動中の作業員9名が酸欠または一酸化炭素中毒の症状を発症。その内の5名及び倒れていた2名を病院に搬送するとともに、残り4名に対し、現場にて応急措置を実施。
- ・同日20:00頃、搬送された7名のうち1名の死亡を確認。死因は一酸化炭素中毒。他6名は後日退院し、現場で応急措置を受けた4名とともに現在は職場復帰済み。

※ バグフィルタ…発電設備のろ過式集塵機

#### 2. 事故原因

現在、警察等により調査中であり、当社は引き続き全面的に協力していく。

#### 3. 再発防止策

一酸化炭素中毒に関する再発防止策として以下を策定。

- ・設備内の作業時は、一酸化炭素検知器の設置等の安全対策を実施し、一酸化炭素中毒のリスクを低減した上で実施する。
- ・関係する作業員全員に一酸化炭素中毒に関する教育を再度実施。

なお、今後、事故原因が特定できた際に改めて再発防止策の内容を検討。

#### 4. 今後の工事スケジュール

上記「3. 再発防止策」を徹底するとともに、警察や所轄官庁の同意を得たうえで、以下の通り工事を再開。

- ・本日（3月2日）より、ボイラエリア以外の工事を再開。
- ・3月6日より、バグフィルタを含むボイラエリア内の工事を再開予定。

#### 【御前崎港バイオマス発電所の概要】

発電設備所在地	静岡県御前崎市港および牧之原市新庄
発電出力	74,950kW
想定年間発電電力量	約5.3億kWh（一般家庭約17万世帯分に相当）
燃料種別	木質ペレット、パーム椰子殻
運転開始予定	2023年7月
出資会社	株式会社レノバ（38%）、中部電力株式会社（34%）、三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社（18%）、鈴与商事株式会社（10%）

以上

---

#### <お問い合わせ先>

株式会社レノバ 広報室 東山 03-3516-6260 [press@renovainc.com](mailto:press@renovainc.com)

中部電力株式会社 総務・広報・地域共生本部 報道グループ 052-961-3582